





NEWS of  
the NAGANO PHYSICAL THERAPY  
ASSOCIATION

**PT** **ながの**  
**NEWS**

No. **85**

## 巻頭言



福祉部長  
NPO 法人 佐久平総合リハビリセンター **加藤 弘貴**

私は地域活動を中心に活動し、志が同じ仲間と NPO 法人を運営し早 16 年になります。地域活動とは漠然とした言葉ですが、活動の主な内容は行政からの介護予防事業・健康増進事業、学校での障害予防・姿勢指導・運動器検診、デイサービス・介護施設での個別機能訓練・集団体操、障がい者施設の支援、企業の生活習慣病・腰痛予防、民間団体への講演会活動、スポーツ現場でのサポート、自費施設の運営など様々な事に取り組んでいます。本来の理学療法士としての働き方とは大きく異なり、稀有な存在かもしれません。私自身は理学療法士という仕事が好きであり、可能性を感じていますが診療報酬の話や、少子高齢化による人口減少を背景に、理学療法士は病院や施設の何でも屋になるのではないかなどそんな噂も聞こえてきます。先日行われた学術大会でも職域拡大の話がテーマに挙げられていましたが、私個人の考えでは、理学療法士が団体として新たな職域を展開し、今以上に活動の幅を広げ定着するにはまだまだ時間がかかると考えています。

特に最近では介護予防・日常生活支援総合事業で多くの市町村が喫緊の課題に直面し、当法人もリハビリ専門職として総合事業に関わる事が増えてきました。国の施策として、総合事業にリハビリ専門職が介入することで、地域包括ケアシステムの一部を担い、多くの住民に対し適切な距離感で迅速な介入をすることが期待されています。しかし実際に活動していると、市町村で温度差はありますが住民の皆様の介護予防に対する意識が高く、いくつかの自治体では介護予防を住民自らの手で行う、有志の団体が存在しています。団体の多くは通いの場、通所型訪問型 B 事業を背景に立ち上がっていますが、中には数十年も前からすでに活動しており、行政の手を借りず独自で団体を守ってきた住民の皆さんもいらっしゃいます。リハビリ専門職の総合事業への関り方は様々ですが、このような住民団体の存在すら知らない専門職も多いのではないのでしょうか？ そのような背景を知らずに国の施策だからと言って、地域性、住民団体の活動内容も把握せずに関わると返って不協和音が生じ兼ねません。その地域には大切にしてきた歴史、文化、人付き合いがあります。まずはしっかり地域に目を向け耳を傾け徹底的に知る事から始めてみましょう。そこが出来ればよりリハビリ専門職の力が発揮されやすくなります。地域にはリハビリ専門職だけではなく、健康運動指導士、柔道整復師、トレーナーなど様々な職域の方が強い思いをもって活動しております。私は地域が健康になればいいので、どんな方が活躍しても素敵な事だと思えますがリハビリ専門職の皆さんの妻さんも良く分かっているつもりです。同時にもっとこの知識や経験を地域の方に届けてほしいと切に望んでいます。病院に勤務されている多くの先生方はなかなか外部活動、地域事業に関わりにくいことも良く分かります。しかしそのハードルを越えて是非、様々な地域活動に取り組んでみてはいかがでしょうか？ 多くの皆さんのお役に立てるはずですよ。

## 特集：第52回長野県理学療法学会大会

令和5年6月17日（土）～18日（日）に開催されました第52回長野県理学療法学会大会「理学療法新時代の幕開け」より、皆様のお声をお届けします。

### 第52回長野県理学療法学会大会を終えて



第52回長野県理学療法学会大会 大会長  
くろさわ病院 國分 隆行

令和5年6月17日～18日に開催しました第52回長野県理学療法学会大会は久しぶりの対面とオンラインを合わせたハイブリッド形式で、県内外から1000人を越える多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

今大会は「理学療法新時代の幕開け」と題し、一般演題発表をはじめ市民公開講座やシンポジウム、教育講演においても理学療法の新たな時代を感じる密度の濃い2日間となりました。また、学会大会会場内では演題発表や講演終了後にもフロア内で時間の許す限りディスカッションをされている風景も見ることができ、対面の良さを改めて実感した大会となりました。

理学療法新時代の幕開けから新時代の展望へ、理学療法の世界が益々発展していくことを祈念し、次回大会へバトンをつなげたいと思います。



## 学術大会を振り返って ～発表者の立場から～

佐久総合病院  
大池 遼



この度は、第52回長野県理学療法学術大会で発表をさせていただき誠にありがとうございました。私自身は回復期病棟で約7年勤務をしています。皆様周知のことですが、回復期病棟では患者様の機能回復を最大限促進しADL向上や社会参加につながる支援をおこなうことが求められます。患者様の多様な機能障害、特に高次脳機能障害は、患者様が退院後の生活を送るうえで大きな制限になると感じています。また、限られた在院日数で患者様の回復を促す上では複数の問題に対して同時的に介入する必要性があり、今回それらの課題を解決する一助になり得る介入方法を実践したため、症例報告をおこなうまでに至りました。

理学療法士になり4回目の学会発表ですが、毎回新たな気付きを得ることができ、自身の成長の糧になると感じています。そして、学会発表に限らず理学療法士として対象者のより良い生活や人生の支援ができるよう今後も取り組んでいきたいと思えます。

## 学術大会を振り返って ～座長の立場から～

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター  
三才山病院  
大塚 貴史



第52回長野県理学療法学術大会で一般演題座長を務めさせていただきました。オンライン併用でのハイブリッド形式の座長は初めての経験でした。座長席前のパソコンから寄せられるオンライン参加者からの質問を確認しつつの演題進行は非常に緊張しました。演題進行に集中するあまり、パソコンに寄せられる質問を丁寧に拾う事ができなかった点は非常に反省しております。全国の参加者から質問がくるというのはオンラインならではの大変刺激を受けました。大会長をはじめ準備委員の皆様のサポートを受けながら大きなトラブルなく無事座長を務めることができましたことをありがたく思っています。会場参加者からの質問も多く挙がり、現地開催ならではの熱量も感じる事ができました。今大会のテーマでもあった「理学療法新時代の幕開け」についていけるよう、日々精進していきたいと思えます。

ここからは前回大会となる第51回長野県理学療法学会大会表彰演題者のお声をお届けします。

## 最優秀賞を受賞して

健和会病院

戸崎 精



この度は第51回長野県理学療法学会大会において最優秀賞を賜りましたこと、大変光栄に思います。受賞にあたり大会長の林先生をはじめ、選考委員の諸先生方に心より感謝申し上げます。私の研究テーマである新しい下肢荷重量測定器の開発は、「簡易的かつ安価に動作時の下肢荷重量を測定したい」という臨床のニーズを医工連携により長野県内の地元企業が製品化することで実現しました。これも地元との関わりが強い長野県だからこそ生まれた成果だと思います。今回の発表では当該機器を用いた評価が高い信頼性と妥当性を有することを報告し、今後の新たな理学療法評価の一つとなっていくことを期待しています。これからも長野県からイノベーションを起こし、長野県の理学療法学の更なる発展の一助となることを目指しながら、日々の研鑽を重ねて参りたいと思います。

末筆ながら、研究にご協力いただきました健和会病院スタッフの方々に深く感謝申し上げます。

## 優秀賞を受賞して

のぞわ整形外科  
有井 一貴



この度は第51回長野県理学療法学会において、優秀賞を頂き誠にありがとうございます。発表にあたりご指導頂きました先生、同僚や近隣施設の理学療法士の皆様に感謝申し上げます。

日々臨床の中でご高齢の方から「また登山に行きたい」「ランニングを再開したい」など様々な希望が上がります。ひと昔と比べると医療機関が求められるゴールは高くなってきているように感じます。

我々理学療法士は疾患と身体機能両面から、動きに対してアプローチできるスペシャリストだと思います。今回の研究では圧迫骨折の既往が立ち上がり機能に影響を与える可能性が示唆されました。疾患と身体機能低下の繋がりを紐解いていくことは、患者さんが求める動きを再獲得するためのヒントになるのではないかと思います。

今回の受賞を励みに、今後も患者さんが求める生活を送る為の手助けが出来るよう頑張りたいと思います。

## 優秀賞を受賞して

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター  
鹿教湯病院  
樋口 登



この度は第51回長野県理学療法学会において優秀賞を賜り大変光栄に思います。発表に際して起案に始まりデータ収集、統計処理、発表準備と地域包括ケア病棟のリハスタッフには多大なご尽力を頂きました。発表にあたりご協力頂きましたスタッフの皆様はこの場を借りて感謝申し上げます。今回の発表では当院の地域包括ケア病棟の取り組みを紹介するとともに、入院によるリハビリテーション効果を報告させて頂きました。地域包括ケア病棟におけるリハビリテーション効果に関しては報告が少ない現状があり、多くの地域包括ケア病棟で実施されている集団体操の効果を初めて示せたことは有意義であると考えます。この賞を励みに今後も地域包括ケアサイクルの一端を担えるよう、スタッフ一同努力して行きたいと思います。この度は誠にありがとうございました。

## 学術奨励賞を受賞して

北アルプス医療センターあづみ病院 肩関節治療センター  
川上 祐衣香



今回私は、第51回長野県理学療法学会にて「術後6ヵ月で目標角度を達成する腱板修復術後早期の目標値」というテーマで発表を行い、学術奨励賞を受賞することが出来ました。当院には肩関節治療センターがあり、肩関節拘縮や腱板断裂の患者様が沢山通院されています。その中で、腱板修復術後の患者様の治療において、術後早期の肩関節可動域獲得は肩関節機能の回復に重要であるという認識の下で術後早期リハビリテーションに取り組んでいます。当院では過去に報告した術後早期理学療法の方法に基づき介入を行っていますが、その中でも腱板修復術後6ヵ月に良好な肩関節可動域を得るために最も重要な術後早期の目標角度を明らかにするために今回のテーマで研究を行いました。今回得られた研究結果は、今後の腱板修復術後の患者様の治療に活かせる結果であり、当院だけでなくこの発表を知ってくださった方々の治療にも貢献できていれば嬉しいです。

## 学術奨励賞を受賞して

北アルプス医療センターあづみ病院 肩関節治療センター  
浅田 凌雅



この度、長野県理学療法士学会にて学術奨励賞をいただき大変光栄に存じます。

私は現在、北アルプス医療センターあづみ病院の肩関節治療センターで、肩関節の理学療法を日々行っています。今回発表した「腱板断裂術後早期における目標角度の獲得に影響を及ぼす因子」という研究は、肩腱板断裂患者様の術後の治療成績を良くするために、手術をする前の段階での理学療法がとても重要であるということです。術前の段階で可動域制限が強く残存していると術後の治療成績が不良になってしまう症例が多く存在します。今回の研究によって、少しでも腱板断裂術後の治療成績向上に繋がればと思います。今後も腱板断裂だけでなく肩の疼痛に困っている患者様をより多く笑顔にできるように日々精進していきたいと思っています。今回の受賞は私個人の力ではなくご協力していただいた北アルプス医療センターあづみ病院の先生方あってのものです。深く感謝申し上げます。

## 第 53 回長野県理学療法学会大会に向けて

---



第 53 回長野県理学療法学会大会 大会長  
千曲中央病院 大矢 昌宏

第 52 回大会は、テーマが“理学療法新時代の幕開け”ということでした。第 53 回大会においては、第 52 回大会で幕明けた新時代の知見において、社会の動きや行く末などを見渡して、より具体的に行動できるような内容に触れられる学会大会にするべく、テーマを「理学療法新時代の展望」としたいと思います。

少子高齢化のため社会保障は重大な局面を迎え、深刻な担い手不足に直面し、自動化や AI の普及さらには外国人労働者の受け入れ拡大等、地方でもこれまでの生活・就労に多大なる変化が起きると思われまふ。長野県において高齢化率は顕著で現在でも日々の業務の中で高齢者との関わりは大多数の理学療法士が体験しているところではありますが、ただ漫然と日々の業務をこなしているだけでこの局面を乗り越えられるのでしょうか？

2025・2040 年に向けての新時代突入に際し、各分野の最新の情報に触れ、新しいエビデンスを構築していく必要があると思ひます。コロナ禍で業務範囲が縮小されたり、研修会参加が制限されたことにより、アップデートが出来ないで悶々とする日々を送っている、もしくはアップデートを必要と思わなくなつてきて理学療法士の魅力が薄れてきている実状が、会員数減少という形で散見されていますが、会員の皆様がこのような学会大会などで、理学療法士としてステップアップして頂き、幕明けた理学療法の新時代をけん引して頂くことを願っております。

会員各位

(一社) 長野県理学療法士会  
会 長 佐藤 博之 (公印省略)  
第53回長野県理学療法学会  
学会会長 大矢 昌宏 (公印省略)

## 第53回長野県理学療法学会開催のお知らせ

拝啓 時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第53回長野県理学療法学会を下記の要項にて開催いたします。  
多数の皆様の参加をお願い申し上げます。

敬具

### 記

テーマ：理学療法新時代の展望

期 日：令和6年6月15日（土）～6月16日（日）

開催形式：戸倉創造館

ハイブリッド形式\*

\*令和5年5月8日から「5類感染症」に移行いたしました。つきましては、今後の研修会、講習会及び会議等の開催にあたっては、引き続き適切な場面や状況に応じた感染対策を行い、従来通りに事業を実施してまいります。今学会は、子育て中の方、遠方の方等、現地参加出来ない方のために web 参加でのハイブリット形式を維持します。但し「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための長野県理学療法士会活動指針」に 則り、感染状況等によっては開催形式を完全 web へ変更となる可能性も未だございます。開催形式については、今後開設致します大会特設 HP 等でお知らせ致します。

以上

## お知らせ

会員各位

第53回長野県理学療法学術大会  
大会長 大矢 昌宏  
(一社)長野県理学療法士会  
学術大会部長 森本 正道

### 第53回長野県理学療法学術大会演題募集のお知らせ

拝啓 秋麗の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、第53回長野県理学療法学術大会の演題を下記の要項で募集致します。皆様のふるってのご応募をお待ちしております。

敬具

記

- 内 容 : ①演題名 (仮題でも可)  
②演者名 (所属、筆頭演者氏名)  
③発表内容を簡潔にまとめたもの  
(抄録については演題の採用決定後に詳細を送付致します。)  
④理学療法士免許取得年 昭和・平成 年 月  
⑤日本理学療法士協会会員番号

応募先 : 〒387-8512 長野県千曲市杭瀬下58  
特定医療法人財団大西会 千曲中央病院  
リハビリテーション科 西澤 亘  
TEL: 026-273-1212  
FAX: 026-272-2991  
E-mail: 53pt.taikai@gmail.com  
\*郵送・FAX・E-mailのいずれかで送付願います。

締め切り: 令和5年12月31日

以上

### ● ながの こども療育用具・福祉機器展 ●

各業者様のご協力の下、昨年は、2年ぶりに、ながのこども療育用具・福祉機器展を現地にて開催することができました。同時に、ながのこども療育用具・福祉機器展 WEB 版も多くの方々に閲覧頂き、ありがとうございました。

今年度も、2023年11月3日に会場開催します。来場者把握のため、会場参加を希望される方は事前申し込みにて来場時間をご予約の上、ご参加いただきますようご協力をお願い致します。WEB 版開催も更新して行います。WEB 版では昨年の福祉機器展の様子を写真で紹介し、出展業者様を紹介しています。当日の動画配信はありませんが、各業者様の新商品などを紹介していきます。皆様のご来場、ホームページの閲覧をお待ちしています。

- ・日 時：2023年11月3日（金・祝）午前10時00分～午後3時00分
- ・開催場所：キッセイ文化ホール 中ホール（松本市）
- ・参加方法：事前登録 ⇒ ホームページより登録フォームへアクセスできます。
- ・WEB : 公開期間 2023年10月10日（火）（予定）～2024年度ハートフルフェスタ開催まで

会場開催につきましては、感染拡大防止策を万全にとったうえで行いたいと思います。ただし、感染警戒レベルによっては、やむを得ず中止とする場合もあります。会場開催中止の場合、ホームページ「ながのこども療育用具・福祉機器展～WEB版～」でお知らせします。

**\*ホームページは現在も公開されています。興味のある方はご覧下さい。**

ホームページアドレス

<https://hukushikikiten.wixsite.com/naganokodomo>



### ● 小児理学療法実態調査、小児リハビリテーションマップ作成 ●

6月1日に県士会発送資料にて県内における小児理学療法の実態調査を実施しました。ご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。今回、回答を頂けていない施設もありましたが、今後も随時情報収集していきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。今後、小児リハビリテーションマップの完成をもって皆様に県内での小児理学療法実施状況をお伝えできればと考えております。

小児リハビリテーションマップにご協力頂けるとご回答頂いた施設様に関しましては、今後、施設情報などを聴取させていただきますので、引き続きご協力の程、宜しくお願い致します。

### ● 第18回小児リハビリテーション研修会 ●

テーマ：「神経筋疾患・重症心身障害児（者）の非侵襲的呼吸ケア～急性期から在宅までの

気道クリアランス・嚥下障害と誤嚥性肺炎予防・姿勢管理のリハビリテーション～」

講師：独立行政法人国立病院機構北海道医療センター神経筋/成育センター（西館）NIVセンター  
理学療法士長 三浦利彦 先生

2023年9月16日（土）に上記研修会を飯田市立病院（現地開催）とオンラインのハイブリットにて開催いたしました。講師の三浦先生、参加していただいた方、研修会に協力していただいたスタッフに感謝申し上げます。

● 諏訪中央病院 大橋 淳司

運動耐容能は最高酸素摂取量や運動時間で示されるが、血管内皮機能の改善などによる末梢循環の改善、骨格筋の適応現象、エネルギー代謝・糖脂質代謝の改善、抗炎症・抗酸化作用など全身に対する作用が関与する。有酸素運動による効果を下記に記す。

### ○末梢循環の改善

血管内皮機能障害は動脈硬化に先行して出現する。高血圧症、脂質異常症、糖尿病では内皮依存性血管拡張反応が低下している。これは活性酸素種の産生に対して抗酸化機能が十分制御できず一酸化窒素(NO)の作用が減弱することに起因する。有酸素運動は血管内皮にずり応力をもたらすNO合成酵素活性、抗酸化酵素活性を増加させるため酸素ストレスを制御し血管内皮依存性血管拡張反応の増加をもたらす末梢循環を改善させる。

### ○骨格筋の適応現象

骨格筋の身体活動低下に伴う反応は炎症性サイトカインの増加などによる毛細血管密度の減少、酸化酵素の多いI型から解糖系酵素の多いII型への筋線維型の変換、ミトコンドリア減度の減少、TCAサイクル酸化酵素の活性低下など骨格筋機能障害を引き起こす。

有酸素運動は骨格筋毛細血管密度の増加、骨格筋内の炎症反応を抑制しII型からI型筋線維への再変換を促し、ミトコンドリアおよび酸化酵素活性を増加させる。最高酸素摂取量の増加と最大下同一負荷時の乳酸濃度の減少、嫌気性代謝閾値の上昇は骨格筋血流量の増加よりミトコンドリア密度、酸化酵素活性の増加と相関する。

### ○糖脂質代謝の改善

有酸素運動は循環血中、骨格筋、脂肪組織のリポ蛋白リパーゼ活性を高めて脂肪酸の供給・利用を促進させ、骨格筋細胞内で脂肪酸の輸送に関与するトランスポーターを増加させることで好氣的代謝を促進させる。運動はグルコース輸送体の増加、インスリン感受性を高め、アセチルCoAを産生し糖脂質代謝に好影響をもたらす。

また、運動により脂肪細胞から多数のサイトカインが分泌され骨格筋細胞と脂肪細胞が肝臓と関連してエネルギー制御機構を担い動脈硬化性疾患の発症、予防にも関与する。

### 参考文献

心臓リハビリテーション第2版(上月正博 編著)など

## おすすめ！の一冊

会員の皆様のおすすめの書籍を紹介させていただきます。



**タイトル：『運動療法学 障害別アプローチの理論と実際』**

**著 者：市橋 則明**

**出版社名：文光堂**

今回私が紹介させていただく著書は『運動療法学 障害別アプローチの理論と実際』です。運動療法は理学療法士として治療を行う上で切り離すことのできない重要な治療法だと思います。研修会や雑誌など運動療法に関するものを目にする機会は多くありますが、中には根拠が明確にされていないものも多いように思います。本書はまず運動療法を行う上で重要な運動学や骨・関節などの基礎知識について説明されており、次に関節可動域制限・筋力低下など18項目の様々な機能障害に対する運動療法の理論や実際のアプローチについて述べられています。根拠に基づいた評価・治療の進め方が紹介されており、特に、機能障害はどのように分類されるのか？ どのように評価を進めていくのか？ 運動療法の理論にはどのようなものがあるのか？ 運動療法をどのように進めていくのか？ に焦点を絞って記載されています。

理学療法士として様々な患者様に対して治療を行うなかで、正しく評価が行えているのか・行っている治療プログラムが本当に効果的なものなのか悩む場面は多くあると思います。本書は項目ごとに文献など研究によるデータ・根拠に基づいて評価や治療について説明されており、本書を読むことで評価・治療を行う過程で患者様の機能について何が分かっていて・何が分かっていないかを自身の中で明確に整理することができる1冊だと感じました。自身行っている評価や治療内容が本当に正しいものなのか、効果的なものなのか疑問に感じている方や治療を見直したいときなどおすすめの1冊です。

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院 和田 将弥

## ●長野松代総合病院附属若穂病院



北澤 敦

長野松代総合病院統括事業所は、本院、附属若穂病院の2病院と、訪問看護ステーションまつしろと2診療所ならびに長野PET・画像診断センターの共同運営を行っています。事業所全体で急性期から慢性期まで対応できる体制となっています。

当院は急性期治療が終了した後の慢性期の入院治療を提供する目的で、2007年に医療療養病床60床で開院、デイケアも併設され、17年目を迎えました。2012年に療養病床120床へ増床されています。

院内ではPT7名、OT4名、ST3名、デイケアではPT2名、OT1名のセラピストが配属されており、一人ひとりにあわせたりハビリテーションの提供や他職種間の連携強化、在宅復帰に貢献できるように退院支援を心掛けています。

医療と介護の両面において、患者さんや利用者さんが住み慣れた地域で、安全かつ安心な生活が送れるように、ニーズに真正面から向き合い、志向し、問題解決に向けて挑戦を続けられるように日々取り組んでいます。



## ●北信総合病院



長崎 寿夫

北信総合病院は、地域の中核病院として著しく発展しました。高度医療機器・設備の整備による先進医療提供のための機能強化、そして、臨床研修指定病院、災害拠点病院、救急告示病院、長野県災害派遣医療チーム指定病院、地域がん診療病院、地域周産期母子医療センター、リハビリテーション総合承認施設、人間ドック認定病院など数多くの指定・認定を受けることによる病院としての総合的な医療機能の充実です。働く職員の理念は「愛と活気」です。地域を愛し、そこに暮らす人々の心身の健康を保護し、安心安全で最新の知見に基づいた高度医療を提供し、地域の皆様の活気ある暮らしと福祉に貢献する。それが、北信総合病院の務めであり、あります。リハビリテーション科においては、逼迫する入院患者や新型コロナウイルス感染対策など業務の多忙な中、コミュニケーションをしっかりととり、チームワーク連携で乗り越えていこうと、日々奮闘しています。



ま  
ま  
に  
…  
徒  
然  
な  
る

## 御船祭り

鹿教湯病院  
丸山 海周

新型コロナウイルスが5類感染症に移行してから、各地でお祭りが再開してきています。私の地元の安曇野市でもお祭りが再開し、9月には御船祭りというお祭りが控えています。穂高神社で行われる御船祭りは高さ6m、長さ12mにも及ぶ木で作られた舟形の山車を衝突させ合うお祭りです。穂高神社での御船祭りの始まりは江戸時代半ばよりも前であるとも言われています。御船は大人船が2艘、子供船が3艘出されますが、御船にはそれぞれ「穂高人形」とも呼ばれる人形を飾り付けています。船上には地元の小学生からなる笛や太鼓などの囃子の方々も乗っており、穂高の街中を曳いて練り歩きますが、本祭りでは穂高神社境内で2艘の大人船による衝突が見られます。何度も激しい衝突が繰り返され、間近で見るととてもすごい迫力です。また、この御船祭りは長野県無形民俗文化財に指定されています。コロナ期間中は中止などもありましたが、昨年より再開し今年もより多くの方がお越しになると思います。穂高神社では毎年9月26日、27日に開催されており、安曇野市には穂高神社以外にも住吉神社や熊野神社などにもそれぞれ4月と8月に御船祭りを開催しています。皆さんも是非この機会に足を運んでみてはいかがでしょうか？



# 賛助会員広告

車イス・介護用品・福祉機器  
身体障害者用自動車運転装置

製作・販売・レンタル

*Matsui* マツイ商会(有)



本 社 〒390-0827 松本市出川2丁目19-6  
☎ (0263) 87-2255・FAX (0263) 25-5577  
長野営業所 〒381-2204 長野市真島町真島1286  
☎ (026) 285-6070・FAX (026) 285-6139

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修  
CARE 介護ショップ **サクラケア**

千曲店 /TEL(026)273-4115 佐久店 /TEL(0267)64-5115  
長野店 /TEL(026)223-4115 塩尻店 /TEL(0263)59-4115  
長野北店 /TEL(026)252-4115 伊那店 /TEL(0265)77-4117  
長野南店 /TEL(026)299-4115 松本店 /TEL(0263)78-6311  
上田店 /TEL(0268)21-4115 上越店 /TEL(025)531-0553  
中野店 /TEL(0269)24-6775

長野県内10店舗のネットワークで県内どこでも  
安心のサービスをお届けします。  
URL <http://www.sakura-care.co.jp/>

有限会社

**アルテックブレース**

愛知県一宮市猿海道2-11-9  
〒491-0838  
TEL 0586-23-6808  
FAX 0586-23-6818

「ゲーム」×「リハビリ」で  
“つらい”から“楽しい”へ

自分の体が  
ゲームのコントローラー!

**TANO**



キッセイコムテック株式会社 公共・医療ソリューション事業部  
TEL :0263-40-1122 E-mail : motion@comtec.kicnet.co.jp

長野県理学療法士会員の皆様の  
一生の安心をお手伝いしたい……

「生きる」を創る。

**Aflac**

アフラックサービスショップ (株) エヌアイ  
募集代理店

フリーダイヤル 0120-14-6465  
〒388-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

有限会社

**古瀬義肢製作所**

松本市沢村2-2-30  
〒390-0877

TEL 0263-33-4586  
FAX 0263-33-3066

# ウイールチェアー中部株式会社

(H22.8 社名変更しました)

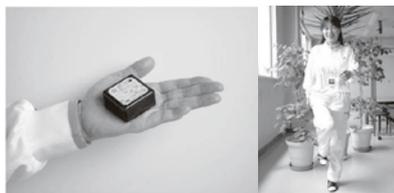
〒407-0003

山梨県韮崎市藤井町北下条 1140-11

TEL 0551-23-4368

FAX 0551-23-4369

運動計測なら  
おまかせください



ワイヤレスで動作解析

8チャンネル小型無線モーションレコーダ

マイクロストーン株式会社

〒385-0007 長野県佐久市新子田 1934

URL : <http://www.microstone.co.jp>

# 土屋メディカル株式会社

長野店

〒381-2246

長野市丹波島2丁目10-12

TEL 026-283-7070

もっとたくさんの笑顔のために

地元で介護のお手伝い

福祉用具のレンタル・販売・住宅リフォーム

障害者福祉・介護食 etc.

有限会社 ケーアンドケーメディカル



長野県佐久市白田 1935

TEL0267-82-0239 FAX0267-82-0026

URL : <http://www.kk-medical.co.jp>

三方よし。

「買って手渡し、売り手よし、世間よし」  
近江商人の理念であった「三方よし」の原点は  
中村徳弥翁の徳政伝に「徳政ありては、  
そこは、たとへば他國（他國）に参り給て、  
この商内物、この國の人一切の人々、  
心より着申され候らうと、自分の事と思わ、  
皆人々様」を語られています。  
私たち中日本メディカルリンクは、  
この精神を現代に生かす、お言葉、私たちが、  
こそ、地域社会をよりよくする、  
医療機器の取り扱いは、始めから「三方よし」。



## Seiei Alles Santé 中日本メディカルリンク株式会社

- 本社 〒390-0873 松本市丸の内9-1 TEL:026338-9411 FAX:026338-0266
- 長野事業所 〒381-0022 長野市大宮高3107-1 TEL:026521-1380 FAX:026521-1248
- 松本事業所 〒385-0011 松本市大宮121-6 TEL:0267-66-8910 FAX:0267-66-8479
- 安曇野事業所 〒398-0204 安曇野市豊科高家2287-5 TEL:026937-4200 FAX:026937-4303
- 伊那事業所 〒396-0411 上伊那郡南木曽町8566-5 TEL:026937-4281 FAX:026937-4306
- 厚志事業所 〒390-0873 松本市丸の内8-1 TEL:026338-0369 FAX:026338-0367
- 商品管理センター 〒399-0204 安曇野市豊科高家2287-5 TEL:026337-3020 FAX:026337-3022
- 伊那営業所 TEL:026535-1160 FAX:026535-1161
- 介護用品事業所 〒390-0873 松本市丸の内8-1 (ヘルメックビル) TEL:026332-4124 FAX:026332-6115

## アフラックサービスショップ 株式会社 エヌアイ

「生きる」を創る。



長野店 フリーダイヤル 0120-14-6465

〒381-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

上田店 フリーダイヤル 0120-65-4427

〒386-0002 上田市住吉287-5



## PHILIPS 気道クリアランスの 維持・向上をサポート

カフアシスト E70は、患者さんの咳の代用として、  
気道クリアランスを維持するための  
非侵襲的な排痰補助装置です。  
Together, we make life better.

Innovation + you



気道粘液除去装置 カフアシスト E70  
製造販売元 株式会社フィリップス・ジャパン  
〒108-8507 東京都港区港南2-13-37フィリップスビル  
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで  
松本支店 Tel.0263-29-3001

※お問い合わせ先は、各営業所電話番号（2020年2月現在）です。営業所電話番号・所在地は変更される可能性があります。各営業所電話番号は、各営業所のホームページに掲載されています。©2022 Philips Healthcare



義肢・装具・車椅子  
リハビリ用品等  
御用命下さい

長野営業所  
松本市大字島立330-1  
(TEL)0263-48-2061  
本社  
愛知県小牧市大字林  
210番地の3  
(TEL)0568-47-1701

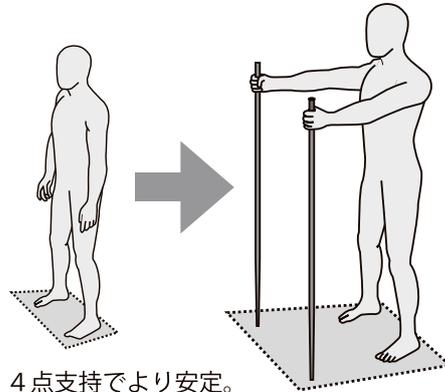
確かな知識と技術  
温かいハートで  
求められる製品をお届けします

**株式会社松本義肢製作所**  
しあわせをかたちにする人と技術の会社です

新しいウォーキングスタイルの提案

# あんしん2本杖

4点支持により転倒を予防、  
これからの杖のカタチです。



4点支持でより安定。

**あんしん2本杖** 税込 ¥7,875 (2本1組)  
色：ブラウン、イエロー

お問合先

株式会社 **シナノ**  
〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1  
TEL.0267-67-3321 FAX.0267-67-3326



## 原稿掲載依頼

「PT ながの NEWS」へ原稿の掲載をご希望される方は、広報部までご連絡をお願い致します。  
メールアドレス：kouhou-pt@akeyu-hp.com



発行 一般社団法人 長野県理学療法士会  
代表 佐藤博之（飯田市立病院介護老人保健施設ゆうゆう）  
編集 保高慎司（鹿教湯三才山リハビリテーションセンター）  
藤原印刷株式会社  
事務局 〒380-0836 長野県長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 5F  
（一社）長野県理学療法士会 事務局  
TEL 026-234-3540 FAX 026-234-3550  
ホームページアドレス <https://ptnagano.or.jp>